

[講演要旨]

1923年関東地震に関する石碑が建つ埼玉県幸手市の神明神社周辺にお住まいの方を対象としたアンケートによる地震の意識調査

篠田海遥・大竹律輝・大道麻優子・中川美生・柴山靖彬・谷中博樹・逸見俊太郎・荒井賢一(栄東高等学校)

§1. はじめに

篠田他(2018)は、埼玉県幸手市に残る1923(大正12)年関東地震に関する文献(幸手町教育委員会, 1983, 幸手町のかたりべ 第一集 関東大震災編)の閲覧調査から、地震発生当時の状況を詳細に把握した。また、その文献にも記されている石碑の調査をおこなった。本研究では、それらの石碑の1つ「神明社拝殿新築記念碑」が建つ神明神社(幸手市中2-1-5)の周辺地域を対象に、地震・防災に関するアンケート調査を実施した。関東地震のことや今後の地震への備えに関して、対象地域にお住まいの方々と情報を共有し、お互いに地震・防災への意識をより一層高めることを、本調査の目的としている。

§2. アンケート調査の概要

(1) 調査対象地域(神明神社の周辺地域)

幸手市 中一丁目・中二丁目・東二丁目

(2) 調査実施日と方法(3回にわたって実施、いずれも1世帯ずつ訪問して回答を依頼)

1回目(7月13日): 質問票を配布し、郵便による返送またはインターネットによる回答を依頼。

2回目(7月19日): 上記の方法で期待したとおりの回答数を得られなかったため、訪問調査(口頭での聞き取り調査)に変更。

3回目(7月27日): 2回目と同様の方法で実施。

(3) 質問票(「はい」の場合、次の質問に回答)

〈1〉関東大震災(1923年(大正12年)9月1日に発生)をご存じですか。 はい・いいえ

〈2〉関東大震災において、幸手市内でも被害が生じたことをご存じですか。 はい・いいえ

〈3〉幸手市内で具体的にどのような被害が生じたかをご存じですか。 はい・いいえ

〈4〉ご存じの幸手市の被害について○を付けてください。○を付けた被害は、どのような方法で知りましたか。(複数選択可・記述可)

- ①本震による家屋等の倒壊
- ②余震による家屋等の倒壊
- ③液状化現象
- ④デマによる混乱
- ⑤その他

〈5〉神明神社(中2-1-5)の存在をご存じですか。 はい・いいえ

〈6〉神明神社の境内に建つ石碑の1つが関東大震災に関する記述であることをご存じですか。

はい・いいえ

〈7〉この石碑の碑文をご覧になったことはありますか。 はい・いいえ

〈8〉どのような方法でこの石碑の碑文をご覧になりましたか。(複数選択可・記述可)

- ①神明神社を訪れて
- ②『幸手町のかたりべ 第一集』を閲覧
- ③『幸手の石造物Ⅰ 幸手地区』を閲覧
- ④その他の方法で

〈9〉この石碑に記されている内容でご存じのものに○をつけてください。(複数選択可・記述可)

- ①震災当日の天候
- ②本震による揺れ
- ③本震による家屋の倒壊
- ④幸手町内の死者数
- ⑤余震に関すること
- ⑥神明神社の拝殿や社殿が大破したこと
- ⑦神社そのものの復興のこと
- ⑧碑文を見たことはあるけれども内容までは知らない
- ⑨その他

〈10〉神明神社以外に、幸手市内に建つ関東大震災に関して記された石碑の存在をご存じでしたら具体的な場所をお書きください。(記述)

〈11〉関東大震災による幸手市の被害について記されている文献の中でご存じのものに○を付けてください。(複数選択可・記述可)

- ①幸手町のかたりべ
- ②幸手市史通史編
- ③幸手市史近代資料編
- ④幸手市史自然環境編
- ⑤関東地震に関する論文【篠田他(2018)】
- ⑥その他

〈12〉日頃からご家庭で取り組んでいる地震への備えがありましたらお書きください。(記述)

※最後に、〈13〉として年齢・性別を質問

§3. アンケート調査の結果

最終的に合計90世帯(各世帯1人)より回答を頂いた。関東大震災が発生したことをご存知の方は84人、そのうち幸手市内でも被害が生じたことを把握されていた方は26人であった。神明神社の存在をご存知の方は69人、そのうち境内に関東大震災に関して記された石碑が建っていることを把握されていた方は10人であった。本調査の集計結果と考察についてまとめた資料を、2019年12月2日~2020年3月31日まで幸手市のWebページ上に掲載して頂いた。

謝辞

本校理科学研究部の島村泉里氏、遠藤匠人氏、宮崎和至氏には、調査に協力を頂き深く感謝申し上げます。